

(様式 3) 指定管理者の管理運営状況調書

指定管理者の管理運営状況調書

所管課	教育振興課
検証対象期間	平成 29 年 4 月 1 日～令和元年 7 月 5 日

1 指定概要

施設概要	名 称	矢吹町ふるさとの森芸術村	該当する番号に○をつけて下さい	
			施設類型	目的・機能
	所在地	矢吹町大池 243 番地 2	Ⅰ 事業実施 型	1 観光施設
				2 スポーツ・レクリ エーション施設
				3 生活利便施設
	設置目的	※設置目的を明確に記入してください。 美術、自然科学、歴史、民俗等に関する資料を 保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の 利用に供し、その教養、創作活動等に資するた め必要な事業を行う。	Ⅱ 施設管理 型	4 文化施設
				5 社会教育施設
6 コミュニティ施設				
7 社会福祉施設				
指定管理者	名 称	特定非営利活動法人地域おこし夢クラブ		
	所在地	矢吹町大池 243 番地 2		
指定管理業務の内容		※指定管理業務の内容を明確に記入してください。 施設、設備の維持管理に関する業務、施設利用手続きに関する事務、各種装置等の 操作に関する業務、企画展等に関する業務、料金の徴収に関する業務		
指定期間		平成 29 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日		
指定管理選考委員会等 の設置の有無		○（名称：矢吹町社会教育施設指定管理者選定委員会） ・ 無		

2 管理運営実績

	目標 (計画)	実績	要因・原因分析
施設の設置目的の 達成状況	ふるさとの森芸術村での 企画展示の開催、歴史資 料等の展示や保管を行 う。	展示内容は入場鑑賞者に 人気が高く、来場者が増 えている。	ふるさとの森芸術村運営委 員会を定期的に開催。きめ 細やかな年間スケジュール を企画し、その周知方法も 工夫している。

利用者の満足度	利用者のアンケート調査を反映した企画立案と利用者の快適な居場所づくりに努める。	利用者の要望の傾向や希望の把握に努めているため、満足度は高い。	出展者の繋がりによる企画も多くあることから、リピーターによる利用が増えている。
収支状況	経理の専門職員を雇用し、適正な経営管理を行う。	収支経理について、適正に執行されている。	適正に管理されている。

3 管理運営状況等の検証

検証項目	検証細項目	指定管理者の自己検証	所管課の検証
Ⅰ 運営方針、 管理能力	1 平等利用の確保	ふるさとの森芸術村条例、管理運営方針に沿って利用者サービスに徹した管理運営を行っている。また、利用者にとって公平・平等なサービス提供を行っている。展示については運営委員会を開催し、町内外から展示内容も偏らないようにバランス良く計画している。	独自に運営委員会を設け展示の年間スケジュールが組まれている。展示の内容は町内町外の出身者による多種多様な作品を紹介している。使用許可の申請等も適正に行われている。
	2 管理運営体制	勤務体制は常時 2 名体制としている。防火管理責任者 1 名を配置している。年 1 回の県展鑑賞や随時展覧会の研修を実施している。	イベント等に伴う勤務体制は増員を図るなど臨機応変に努めている。
	3 法令遵守等	ふるさとの森芸術村の管理に関する協定書、ふるさとの森芸術村条例及び関係法令等に基づき事業計画書に沿って管理業務を実施している。個人情報保護法の周知徹底を図っている。必要に応じ、労働局や労働基準監督署に相談するなどして、労働法令を遵守している。平成 27 年度から職員の社会保険に加入した。	ふるさとの森芸術村条例及び関係法令等を遵守し、適正に運営されている。平成 27 年度から社会保険に加入し、職員の福利厚生の実施に努めている。
Ⅱ 施設維持 管理	1 利用者対応	苦情等を受けた際は対応者が報告書を作成し、全職員に供覧のうえ問題点を共有するとともに再発防止を図っている。利用者の施設利用日などが重ならないよう一覧表を作成し、相互の確認を確実に進めている。	苦情・要望等の対応について、全職員での共有が図られており、問題となるような案件はない。
	2 地域貢献	基本的に祝日は休館であるが、来館者数が多く予想される日は開館している。地域の文化団体と連携し、平成 28 年度から県補助事業を実施している。	祝日の臨時開館など、民間の利用者目線での運営が図られている。

	3 環境問題への取り組み	オオムラサキ保全プロジェクトを発足し、年々個体の増加を図っている。水道・ガス・電気等の利用には全職員が省エネに向けて努力している。		ボランティアを募集し、現在 15 名がオオムラサキ保全プロジェクト活動に取り組んでいる。
	4 防災対策及び緊急時の対応	災害時の緊急連絡体制表を作成し、事務所内に掲示するなど職員への周知を図っている。防火訓練は年 2 回実施している。		災害時の緊急連絡網が作成されており、職員への周知が図られている。
	5 個人情報保護及び情報公開	ホームページを作成し、情報公開を行っている。個人情報については「個人情報取扱特記事項」（ふるさとの森芸術村の管理に関する協定書別記 2）により対応している。		個人情報保護については、ふるさとの森芸術村の管理に関する協定書に基づき対応している。ホームページは随時更新している。
Ⅲ 利用者に 対する サービス 向上	1 サービスの提供内容	集客を図るため看板数を増やしたり、DM（ダイレクトメール）の発送先などの拡大に努めた。自主事業と県補助事業をタイアップして経費の軽減を図り利用者の増加に努めている。施設の定期点検を実施し、適正な管理に努めているが、経年に伴い設備更新が必要である。		多種多様な内容の企画展、ワークショップやそば会、ミニコンサートなどの各種イベントを実施し、来館者の増加に努めている。
Ⅳ 管理運営に 関する収支 計画	1 管理費用の執行状況	企業会計システムを導入し、収支バランスの適正化を図り運営を行っている。県補助事業の導入により概ね決算状況は良好である。		補助金を積極的に活用している。定期的な内部監査を実施することにより経費節減及び収支向上に努めている。
Ⅴ 総合検証	1 総合検証	平成 20 年度から比較すると来館者数が年々増加している。展示物の鑑賞だけでなく来場者参加型の事業を取り入れ、多くの利用者にふるさとの森芸術村を再認識していただいた。ふるさとの森芸術村運営委員会による企画展の内容が決定され、多種多様な内容の企画展が好評を得ている。施設設備の経年劣化が見受けられる。ふるさとの森芸術村と大池公園の指定管理区域を再確認のうえ施設管理を行う。		ミニコンサートなどの各種イベントやオオムラサキの飼育など指定管理者独自の事業が展開され、来館者数の増加に努めている。 企画展も工夫され、内容についても好評を得ている。 収支状況については概ね良好である。
二次検証	施設所管課	導入効果	施設利用を工夫し、音楽によるミニコンサートや陶芸教室等による来館者が増えており、施設利用の啓蒙が図られている。	
		今後の管理形態	企画展では出展者が順番待ちの状況で大変好評であることから PR 活動についても工夫し、さらなる増客に努めてほしい。	
		その他	施設の維持管理等について十分な協議が必要である。	
	企画総務課	導入効果	A：適正である。	

		今後の 管理形態	指定管理者制度
		その他	令和 2 年度選定方法：公募 協定期間：3 年